

# 未来をひらく

## 平成28年度予算 教育委員会 主要政策

教育委員会では平成27年11月に策定した「北九州市教育大綱」に基づき、市長と教育委員会で共有した方向性に沿って、子どもの教育を推進します。  
また、教育プランに掲げる教育の目標である「思いやりの心をもつ、自立した子どもを育てる」を目指し、「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進します。  
平成28年度に取り組みを主な事業について紹介します。

### 「子どもひまわり学習塾」事業

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」の対象校を拡充して実施します。

《実施校数》 小学校 70校 ↓ 90校  
中学校 21校 + 5拠点  
(全62校を対象)

### リーディングスクール推進事業

ICTの活用及び英語教育の分野で小中学校を1校ずつリーディングスクールに指定して、先進的・先進的な指導方法の開発を行い、優れた教育実践を市内各校へ普及します。

○ICTリーディングスクール 門司海青小学校・高見中学校  
○英語リーディングスクール 光貞小学校・浅川中学校



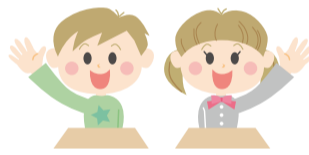
ICTを活用した授業

### 新採・若手教員の指導力向上事業

マイスター教員等による授業モデルの動画をWEB配信するなどし、新規採用・若手教員の研修の支援を行い、教員の指導力向上を図ります。

### 授業力向上ステップアップ事業

学力向上の取組みを総合的に行う学校に対して授業力向上のための助言等を行う学力向上推進教員を配置する等の支援を実施します。



### 学校の読書活動推進事業

子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、中学校区に配置する学校図書館職員等の充実を図り、学校における読書活動を一層推進します。



市内小学校の授業風景

### 特別支援教育を推進する体制の充実

本市の特別支援教育の一層の推進に向けて、課題を整理し、今後の特別支援教育の在り方や方向性を定める「仮称」北九州市特別支援教育推進プランを策定します。

また、早期支援コーディネーターや支援員等を配置・活用し、特別支援教育に係る相談機能や支援体制の充実を図るとともに、就労支援の一層の推進につなげます。

さらに、障害のある子どもたちの教材を市民や企業と協力して作成する新たな事業を展開することにより、特別支援教育や「合理的配慮」の趣旨に対する地域での理解促進を図ります。

○特別支援学級補助講師配置人数：47名 ↓ 53名  
○早期支援コーディネーターの配置：3名

### 「チーム学校」運営・推進事業

学校を取り巻く環境が複雑化し、さまざまな教育課題への対応を迫られる中、特に生徒指導上の諸問題に対応するため、専門性を持つスタッフであるスクールソーシャルワーカー（注1）の拡充や、スクールカウンセラー（注2）等の体制整備をし、教員とともに一つのチームとして学校の教育力を高めめます。

（注1）スクールソーシャルワーカー  
社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為など、問題を抱える児童生徒が置かれた複雑な家庭環境に働きかけたり、関係機関との連携の強化を図る職員。  
（注2）スクールカウンセラー  
児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する臨床心理士等の職員。

○スクールソーシャルワーカー配置人数：8名 ↓ 9名  
○スクールカウンセラーの配置：全62中学校に配置、全小学校に派遣  
全特別支援学校、高等専修学校に配置  
○部活動外部講師数：199名 ↓ 260名 など

### 地域と連携した学校支援

経済界と連携することで、企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修などを行い、平成28年度も対象校を拡充して取り組みます。  
教員が子どもと向き合う時間の確保や地域の教育力の向上を図るため、地域コーディネーターを配置する学校支援地域本部の設置校を拡充し、地域の協力のもと、さまざまな学校の教育活動を支援する体制づくりを推進します。

○経済界との連携による学校支援事業対象校数：小学校 70校 ↓ 100校（予定）  
○学校支援地域本部事業実施中学校区：47中学校区 ↓ 52中学校区（予定）

### 幼児教育連携推進事業

幼児教育推進員を配置し、就学前教育の一層の充実を図るとともに、保育所（園）・幼稚園等の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るためのカリキュラムの研究等を実施します。

### 小中学校等空調設備整備事業

良好な学習環境を確保するため、小中学校等の普通教室にエアコンを整備します。  
平成28年度は小学校41校及び中学校51校の普通教室を整備します。

### 「北九州市中学生文化芸術祭」開催事業

中学生の文化活動の充実を図るとともに、本市の文化的風土を醸成するため、中学生合唱フェスティバル、連合音楽会、文化総合発表会を一体の芸術祭として市内各所で順次開催します。

### ひびきの小学校新設事業

北九州学術研究都市整備事業の進捗により児童数が急増し、本市の分離新設基準を超えた光貞小学校の教育環境を改善するため、ひびきの小学校の校舎新築工事等を実施するほか、教材教具等を購入します。

### 子ども図書館整備事業

子どもの読書活動を総合的に推進する拠点として、中央図書館内の勝山分館、視聴覚センター及び中央図書館の一部を利用して子ども図書館を整備するため、設計業務などに着手します。

### 小倉南図書館整備推進事業

小倉南図書館の新築工事等に着手するほか、図書資料等の選定・購入を開始します。



小倉南図書館（イメージ）

